

2011年02月19日

真田氏研究者、常田軍三さんの講演、劇団「ACT MAFIA TOKYO BOWZ」ミュージカルも！「真田の郷みんなのつどい」（20日・長野県上田市の「真田中央公民館」）



【駅名板や駅舎の写真などが並ぶ展示会（カフェ&ギャラリーSa an）】

真田の歴史を振り返り、未来を考えてみんなが元気に暮らせる真田の郷をつくろう。

「真田の郷みんなのつどい」が20日、上田市真田町長の真田中央公民館で開かれる。

22日までは上田交通真田傍陽線（昭和47年に廃線）をテーマにした展示会を近くのカフェ&ギャラリーSa an（さあん）で開催中。

実行委員会は「多くの人に参加していただき、真田地域を盛り上げたい」と来場を呼びかけている。「つどい」の第1部は午前11時から、うどんやおやきなどの地場産品試食や即売、わが町ビデオ上映会など。

第2部は午後1時半から、同市真田町本原の真田氏研究者、常田軍三さんの講演「真田町の先人の思いに触れて」。

第3部は午後3時から、上田を拠点に活動する劇団ACT MAFIA TOKYO BOWZのミュージカル「六文銭の片隅で～11人目の真田十勇士」。

同市真田町長の社会福祉法人恵仁福祉協会がニッセイ財団高齢社会先駆的事業の助成を受けて実施するハイブリッド・ケア（地域分散型サテライトケア）の展開と新たな地域づくり事業の取り組みの一環。

同事業では月間フリーペーパーの発行や同法人が運営する特養アザレアンさなだの待機者へのヒアリング調査などを行っている。

「展示会」では市民から寄せられた駅舎や路線風景の写真のコピー130点のほか、駅名板、遮断機、傍陽駅にあった大時計などを展示。「汽笛一声上田駅 はやわが電車ははなれたり」で始まる「上田丸子電鉄北東線唱歌」のテープを聞くこともできる。

問い合わせ（電話）0268・72・2781（実行委員会事務局のアザレアンさなだ）